

6. 教員の養成に係る教育の質向上の取組 幼児教育学科

1. 授業方法の効果的導入の工夫について

(1) アクティブ・ラーニング（能動的学修）の導入

教職課程の授業では、グループ・ワーク、グループ・ディスカッション、ディベートなどの方法を取り入れ、学生が能動的に学べるようにしている。

(2) 教員間での連携した学生指導

実習委員会には、幼児教育学科の専任教員全員が所属し、学生の実習指導にあたっている。教員同士、教員と実習担当職員（事務局）が、実習現地指導を通じて得た情報を会議で共有し、授業内容や学生に合わせた個別指導に反映させ、連携を取りながら指導している。

2. コース制の導入

学生は2年次になったところで、自分の興味や関心から、より深く学びたい分野を選び、その分野について深く追求できるように3つのコースを設けている。3つのコースには、自然保育について実践的に学ぶ自然保育コース、地域のニーズに応える子育て支援について実践的に学ぶ福祉社会コース、表現を通して人と関わり、感性や協働する力を養う表現文化コースがある。